

# 令和6年11月の住まいのきになる通信

## (1) 住宅「変動型」0.15%上げ

### 大手5行、基準金利17年ぶり 顧客獲得へ「優遇」競う

- \*大手銀行5行は、変動型の住宅ローンの基準金利を引き上げ。
  - \*日銀の追加利上げに伴い短期プライムレート（短プラ）を9月に0.15%上げました。
  - \*住宅ローンの基準金利を10月から0.15%高い2.625%に。
  - \*基準金利の引き上げは17年ぶり。
  - \*国内銀行の住宅ローンの新規実行額は4~6月期、前年同期に比べ16.6%増。
  - \*建築資材の高騰で物件価格も上昇していることが一因。
  - \*住宅購入者の8割近くが変動型住宅ローンを選ぶとされます。
- (2024年10月1日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)



## (2) 高層ビルの建築資材 逼迫

### 軽量コンクリート原料「確保、必要量の半分」

#### 供給1社頼み、工事滞る懸念

- \*高層オフィスビル上層階の床に使う軽量コンクリートの原料となる「軽量骨材」の需給が逼迫しています。
- \*東京都心の建設現場向けには必要量の半分ほどの供給にとどまります。
- \*軽量骨材の生産会社が1社に限られるため。
- \*軽量コンクリートは一般的なコンクリートと比べ2割程度軽くなります。
- \*ビル上層階の床などに使うと細い柱で建物を支えやすくなり、フロアの空間を広くできるといった利点があります。
- \*国内唯一の生産会社とされる日本メサライト工業（千葉県）の設備が故障。
- \*2021年、貢岩の採掘や焼成設備の維持・更新負担の重さを理由に、西日本の企業が撤退。

## セメント国内販売 12.8%減 8月、24か月連続マイナス

\*8月のセメント国内販売量は、前年同月比 12.8%減。\*24か月連続で前年を下回りました。

(2024年10月5日 日本経済新聞記事より抜粋)



### (3) リフォーム情報を悪用？

#### 悪質業者、資産状況など把握

\*国民生活センターへの、訪問によるリフォーム工事に関する相談件数は2023年が11,861件と、2021年の約1.2倍。

☆悪質なリフォーム業者の特徴 (警視庁)

- ①突然訪問し「屋根が壊れているので修理した方がいい」などと持ち掛ける
- ②工事をしなければ「近隣に迷惑がかかる」などといい、契約をせかす
- ③追加工を求めてくる

\*見知らぬ人が来たら家には上げず、むやみに生活の状況をさらさないことが身を守る基本 (警視庁)。

(2024年10月18日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)

